

2022年3月2日

東京電力エナジーパートナーの電気料金プラン「くらし上手」に対応  
太陽光エネルギーで自家消費を促進  
「おひさまエコキュート(※1)」を発売  
CO<sub>2</sub>排出量と光熱費を削減



【ヒートポンプユニット、貯湯ユニット】



（台所リモコン/ 浴室リモコン）

【無線LAN搭載コミュニケーションリモコン】

品名	太陽光自家消費促進型 自然冷媒 (CO <sub>2</sub> ) ヒートポンプ給湯機		
クラス	ミドルクラス		
シリーズ	Yシリーズ		
給湯タイプ	フルオート		
システム品番 希望小売税込価格 工事費別	屋外 設置用	HE-Y46KQV 904,200円 (税抜 822,000円)	HE-Y37KQV 819,500円 (税抜 745,000円)
リモコン 希望小売税込価格 工事費別	HE-YQWKW 56,100円 (税抜 51,000円)		
発売日	2022年4月20日		

パナソニック株式会社 空質空調社は、東京電力エナジーパートナー管内で、太陽光発電を利用するお客さま向けに、「おひさまエコキュート(※1)」2品番を2022年4月20日に発売します。

近年の再生可能エネルギーの導入拡大と、地球環境に配慮したカーボンニュートラルを軸とするビジネスモデルへの変革を背景に、東京電力エナジーパートナーが新しい電気料金プラン「くらし上手」を2022年2月から開始しました。今回発売する新製品は、この料金プランに対応

し、おもに昼間の太陽光エネルギーを使って沸き上げを行い、電力の自家消費を促進。CO<sub>2</sub>排出量を削減、給湯光熱費も抑えて、家計にやさしいヒートポンプ給湯機です。

さらに、専用スマートフォンアプリ「スマホでおふる<sup>(※2)</sup>」に対応<sup>(※3)</sup>。壁付けのリモコン(台所リモコン)に無線LANを搭載しており、自宅にインターネット環境があれば、ふる予約、ふる自動などの遠隔操作、エラー通知などの各種情報の確認がスマートフォンから行えます。

また、ヒートポンプ給湯機は、万一の大規模停電の発生などにより、沸かしたお湯をタンクに保温して貯め、必要な時に使用可能で、災害時の備えとして注目されています。新製品にも、従来通り、レジリエンス機能の一つとして「エマージェンシー沸き上げ<sup>(※3)</sup>」を搭載。大雨、暴風などの災害警報・注意報が発令されている間、タンク内が常にお湯で満水になるよう、自動でお湯の沸き上げを続けます。そのため、停電時や断水時に備えてお湯が確保できます。

当社は本製品により、カーボンニュートラル社会の実現に向け、エネルギーの自給自足を目指した新しいライフスタイルを提案していきます。

## <特長>

1. おもに昼間の太陽光エネルギーを使って沸き上げることでCO<sub>2</sub>排出量と光熱費を削減
2. 無線LANを搭載し、簡単に専用スマートフォンアプリ<sup>(※2)</sup>からの各種遠隔操作が可能<sup>(※3)</sup>
3. 災害警報・注意報発令時に、自動で全量を沸き上げる「エマージェンシー沸き上げ<sup>(※3)</sup>」

※1:「パナソニックおひさまエコキュート」は、東京電力エナジーパートナー(株)と(一財)電力中央研究所との共同開発商品です。

※2:ご使用にはスマートフォン、インターネット回線、外部接続機器(市販のルーター)、お客様による設定が必要です。

※3:2022年7月からサービス開始予定。

## 【お問い合わせ先】

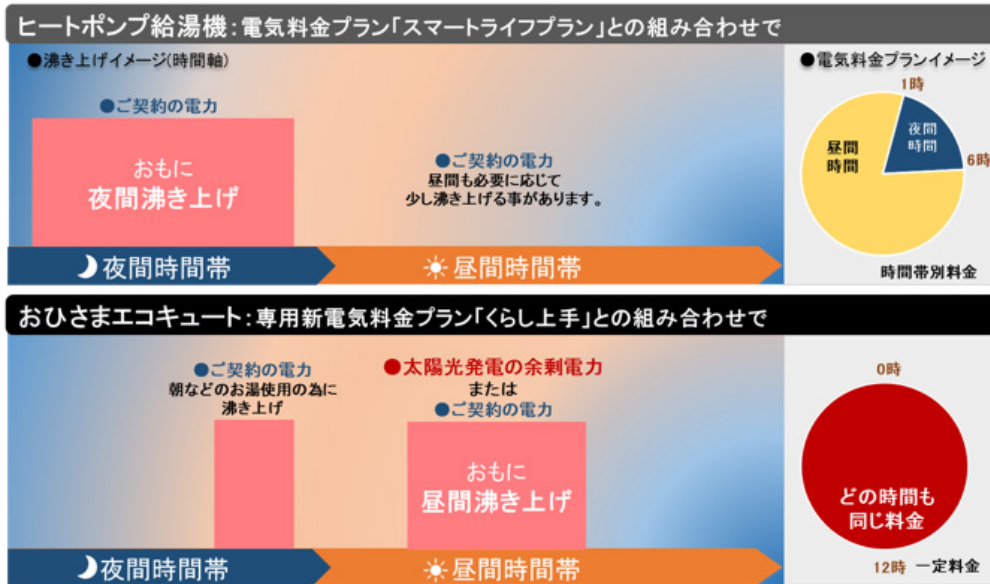
照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター

0120-878-709(受付9:00~18:00)

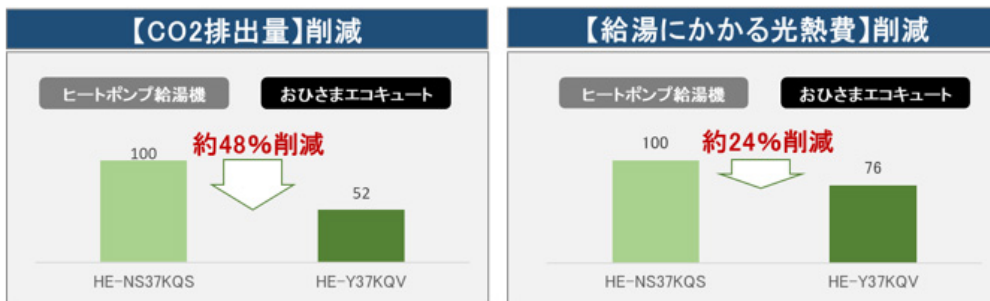
## ■特長

### 1. おもに昼間の太陽光エネルギーを使って沸き上げることでCO<sub>2</sub>排出量と光熱費を削減

本製品は、夜間にお湯を沸き上げるヒートポンプ給湯機とは異なり、おもに昼間に太陽光エネルギーを使ってお湯を沸き上げます。天候の悪い日も昼間に沸き上げますが、東京電力エナジーパートナー専用新電気料金プラン「くらし上手」と組み合わせることで、どの時間帯も同じ料金で利用できます。太陽光発電のエネルギーを有効活用して自家消費を促進し、CO<sub>2</sub>排出量を約48%削減、給湯光熱費を約24%抑えられます。



●「おひさまエコキュート(※1)」は太陽光発電を行わない天候の悪い日も、昼間の沸き上げ時間帯に沸き上げを行います。



#### ■CO<sub>2</sub>排出量算出条件(当社試算)

・給湯光熱費試算で算出したエネルギー消費量に排出係数を乗じて算出 排出係数 電気(東京電力エナジーパートナーエリア)0.441 kg-CO<sub>2</sub>/kWh(経済産業省 環境省公表(令和4年1月)「令和2年度の電気事業者別調整後排出係数」に基づく)

#### ■給湯光熱費算出条件(当社試算)

・国立研究開発法人建築研究所による「建築物のエネルギー消費性能に関する技術情報」で公開されているエネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)Ver2.5.4をもとに以下の条件を設定・住宅の間取り 主たる居室29.81 m<sup>2</sup>その他居室51.34 m<sup>2</sup>非居室38.93 m<sup>2</sup>地域区分6地域 年間日射地域区分 A3区分・外皮平均熱還流率 0.87 W/m<sup>2</sup>K・暖冷房設備 主たる居室、その他の居室 ルームエアコンディショナー エネルギー消費区分(い)・換気 壁付け式第三種換気設備 比消費電力 0.3W/(m<sup>3</sup>/h)換気回数 0.5回/h・照明設備 主たる居室、その他の居室、非居住 すべての機器においてLEDを使用(調光・人感センサーあり)・太陽光発電 4 kW結晶シリコン系太陽電池屋根置き型 真南から東及び西へ15度未満の勾配30度・給湯 日本産業規格JIS C 9220:2018に基づいて算出された年間給湯保温熱量より当社試算

【ヒートポンプ給湯機】品番HE-NS37KQS 運転モード おまかせ節約 電気料金 東京電力エナジーパートナー「スマートライフL」契約容量10 kVA燃料費調整額除く

【おひさまエコキュート】品番HE-Y37KQV 運転モード おまかせ節約 電気料金 東京電力エナジーパートナー「くらし上手」契約容量10 kVA 燃料費調整額除く

昼間の沸き上げ比率は65%にて試算 給湯機で利用する太陽光発電の自家消費量は、全体の消費電力量から給湯分を案分して算出 おひさまエコキュートとヒートポンプ給湯機の自家消費量の差分を売電するとして試算 2022年2月現在

## 2. 無線LANを搭載し、簡単に専用スマートフォンアプリからの各種遠隔操作が可能(※3)

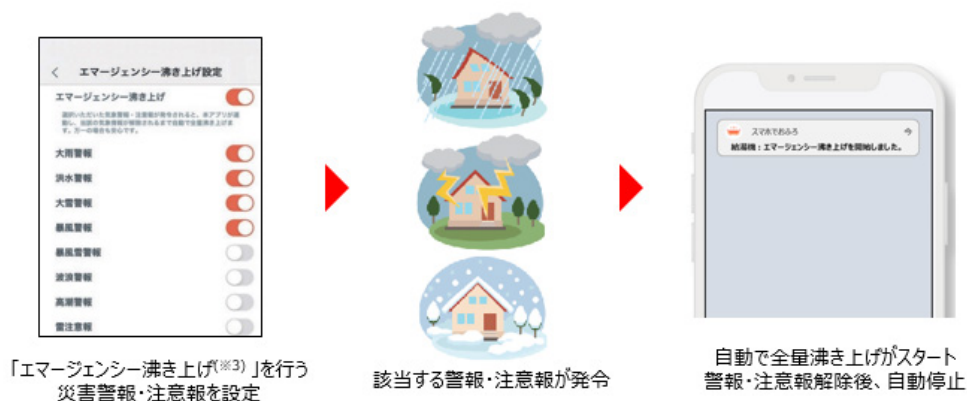
壁付けのリモコン(台所リモコン)に無線LANを搭載することで、自宅にインターネット環境さえあれば専用スマートフォンアプリ(※2)から操作が可能です。外出先や自宅のどこからでも各種操作ができるため、帰宅前のお湯はりや、入浴前の自室からの追いだしなどの操作ができます。

その他にもタンク内の残湯量や、操作がわからない時のQ&Aの確認、エラー発生時の詳細通知などの機能が利用できます。



## 3. 災害警報・注意報発令時に、自動で全量を沸き上げる「エマージェンシー沸き上げ(※3)」

スマートフォンアプリ(※2)との連携により、あらかじめ選択しておいた大雨、大雪、暴風などの災害警報・注意報が発令されている間、タンク内が常にお湯で満水になるよう、自動でお湯の沸き上げを続けます。停電時にお湯が使えるだけでなく、断水時も非常用取水栓で湯水を取り出すこともでき、生活用水の確保に役立ちます。また、「エマージェンシー沸き上げ(※3)」が開始されると、スマートフォンアプリ(※2)にプッシュ通知でお知らせするため、災害情報の認知にも役立ちます。



以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。  
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。